

## 予測が困難な社会を生き抜く力

学校は、文部科学省が策定する「学習指導要領」にもとづき、教育活動を実施しています。平成29年に指導要領が改定され、本年度より全面実施となりました。新しい指導要領では、変化が激しく予測が困難な社会を生きぬくために必要な3つの資質・能力を、幼児教育から高等学校教育まで系統的に示しています。

3つの資質・能力とは、知識・技能（何を理解しているか・何ができるか）、思考力・判断力・表現力（理解していること・できることをどう使うか）、学びに向かう力・人間性等（どのように世界・社会と関わりよりよい人生を送るか）を示しています。これらを培うために、本校では本年度の重点として、「一人一人が願いをもち、主体性と創造性を発揮して、自慢できる学校を創る」を掲げ、全職員で取り組んでいます。

**主体性**を育むには、富小オリンピックの時のように高い志を掲げた子どもたちの願いを大切にして教育活動に取り組むことだと考えます。そのためには、目指す方向を示し、子どもたちの歩みを見つめて適切に評価を与えることが肝要です。

また、**創造性**は正解のない課題に対して、必然性をもって取り組み、納得できる解答を導き出すことで培われていきます。コロナ禍においても、教科の授業にとどまることなく子どもに力をつけられる多様な活動を見極め、取り組んでいます。

11月は、青少年育成市民会議や富岡公民館、岐阜大学等のご協力により、様々な体験活動を味わうことができました。今後も、子どもたちにこれまで体験したことのない感動や驚きをおとして、教科の授業では学ぶことのできない文化や知識を理解し、それを味わう感性を育てていきます。ご家庭でも、お子様の体験を話題にさせていただき、子どもたちの学びを深めてください。



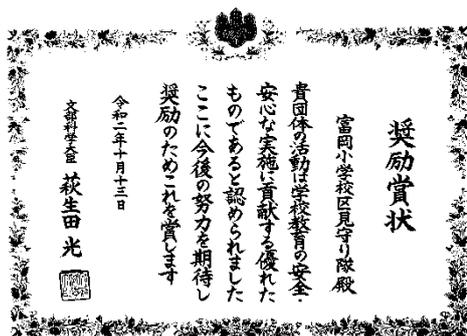
上：運動遊び（2年生）

下：サイエンスショー（4年生）



## 富岡小見守り隊が文部科学大臣奨励賞を受賞

この度、富岡小学校見守り隊の子どもたちに安全と安心を与える実践が評価され、文部科学大臣奨励賞を受賞しました。見守り隊の皆さんには、登校時に児童に声をかけて通学班の引率をしながら、交差点や横断歩道の見届けを行ったり、危険個所の安全指導を行ったりしていただいています。また、下校時は学校近くまで迎えに来ていただき、引率下校を可能にしています。これらの受賞理由に加え、山県市防犯協会とも連携しながら「学校・地域とつながる」実践を積み重ねていることも特筆されています。紙面を借りて、感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。



※ 前号（第8号）本文においてコロナ禍の表記に誤りがありました。お詫びして訂正します。